

は じ め に

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないもの」（子どもの読書活動の推進に関する法律第2条）です。

子どもたちが、いつでも、どこでも、読書に親しむことができる環境を整え、社会全体で、子どもにとって読書が大切なものであることを認識し、子どものための読書活動の推進を図っていくことは極めて重要であります。

本市では、2006（平成 18）年 2 月に「那覇市子どもの読書活動推進計画」（以下、「第 1 次那覇市計画」という。）を定め、2010（平成 22）年度までの間、家庭・学校・図書館・地域等で様々な取組みを実施してきました。

さらに、第 1 次那覇市計画を踏まえて、2013（平成 25）年度から 2017（平成 29）年度までの 5 年間の計画として「第 2 次那覇市子どもの読書活動推進計画」（以下、「第 2 次那覇市計画」という。）を定め、子どもの読書活動推進に取り組んできました。

計画が定められる以前から、家庭や地域、学校等では、それぞれの場において、子どもにとっての読書の大切さは認識され、様々な取組が行われていましたが、計画を定めることで、様々な場での取組の情報を共有し、連携した取組みも生まれ、取組全体を体系的にとらえることができるようになりました。

このような「計画」を定めることでの取組の推進は、2001（平成 13）年 12 月に公布・施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律（以下「法律」という。）」によるものであります。法律では、国や県、市町村における子どもの読書活動推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならないと定められています。

これを受け、国においては 2002（平成 14）年 8 月に、沖縄県においては 2004（平成 16）年 3 月に、それぞれ子どもの読書活動推進の計画を定め、おおむね 5 年間の計画とし、それぞれ第 2 次計画を経て、現在は第 3 次計画を定め、様々な施策に取り組んでいます。

本市におきましても、子どもの読書活動は継続して取組みを行うこと

が大切であるという認識により、第 2 次那覇市計画の取組の成果と課題を検証し、第 2 次那覇市計画を踏まえて、2018（平成 30）年度から今後 5 年間の総合的な施策の方向を示す「第 3 次那覇市子どもの読書活動推進計画」（以下、「第 3 次那覇市計画」という。）を定めました。

第 1 次那覇市計画、第 2 次那覇市計画における取組の中で、子どもの読書活動にとって大切な取組については、第 3 次那覇市計画においても継続して取り組んでいきます。また、改善が必要な取組についてはその内容を改善しました。さらに、これまでの取組の成果をもとに、より発展させた取組についても新たに指標を掲げ取り組んでいきます。

第 3 次那覇市計画では、基本理念として「子どもが自主的に読書に親しみ、感性を磨き、学ぶ楽しみや知る喜びを体得し、“生きる力”を育むまち」を掲げています。その実現に向けて、施策に関する指標及び数値目標を設定し、実効性のある施策を推進していく考えであります。

結びに、那覇市子どもの読書活動推進委員会の委員をはじめ、那覇市社会教育委員のほか、関係機関・団体等のご提言・ご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

2018（平成 30）年 3 月

那覇市教育委員会

目 次

はじめに

第 1 章	第 2 次那覇市計画期間における取組の成果と課題	1
1	第 2 次那覇市計画期間における取組の成果	1
2	第 2 次那覇市計画期間における取組の課題	3
3	子どもの読書活動を取り巻く情勢の変化	4
第 2 章	基本理念	7
第 3 章	基本方針	8
第 3 次那覇市子どもの読書活動推進計画の体系図		10
第 4 章	子どもの読書活動推進のための取組	11
1	家庭における子どもの読書活動の推進	11
2	地域における子どもの読書活動の推進	14
3	学校等における子どもの読書活動の推進	20
4	指標及びめざそう値	25
第 5 章	計画推進のしくみ	30
1	読書活動推進の取組みの進捗管理と評価	30
2	計画の推進に向けて	32
資料編		33